

# 会 務 月 報

## 第424号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

### ■平成30年5月常任理事会議事概要

1. 日 時 平成30年5月24日（木）  
13:25～15:55
2. 場 所 日事連会議室
3. 常任理事会構成者総数、定足数及び出席者数  
常任理事会構成者総数13名、定足数7名、出席者数12名
4. 出席者及び欠席者の氏名  
出席者  
会 長 佐野吉彦  
副 会 長 富岡 學、佐々木宏幸、栗原憲昭、遠藤正幸、  
岩本茂美  
専務理事 居谷献弥  
常任理事 伊藤光洋、植村吉延、栗原信幸、堂田重明、  
新沼義雄  
事 務 局 前田敏明事務局長、鈴木雅之広報企画担当課長、  
千浜民子業務課長、伊東眞理総務課長、吉田茂調  
査役  
欠 席 者  
常任理事 岡村則満
5. 議 長  
佐野吉彦会長より議長について諮り、岩本茂美副会長を議長に  
選任した。
6. 議事録署名人  
佐野吉彦会長、岩本茂美副会長
7. 協議事項  
(1) 第66回定時総会議案について

#### ①平成29年度事業報告について

事務局より、資料1のうち報告事項1の平成29年度事業報告について、会議報告、事業概要、総務・財務、教育・情報、業務・技術、広報・渉外、指導運営、熊本地震、基本問題検討、景観・まちづくり、住宅金融支援機構適合証明業務、対外協力、会員動静、指定事務所登録機関登録状況、青年部会等設置状況及び機構に関するそれぞれの内容の説明がなされた。

#### ②平成29年度公益目的支出計画の実施報告について

事務局より、資料2のうち報告事項2の平成29年度公益目的支出計画実施報告について、公益目的支出額が1億1,273万円余、実施事業収入額が6万円余で、公益目的財産残額がマイナスとなったため、内閣府の認可により、計画どおり平成29年度で公益目的支出計画が完了する見込みであるとの説明がなされた。

#### ③平成29年度決算について

事務局より、資料2のうち第1号議案に該当する一般会計及び適合証明業務登録機関特別会計の平成29年度決算案について説明がなされた。

#### ④任期満了に伴う役員改選について

事務局より、資料2のうち第2号議案に該当する役員選任数等について説明がなされた。

協議の結果、すべての原案を了承し、資料2を6月通常理事会に提案することを決めた。

#### (2) 第66回定時総会等のスケジュール及び運営について

事務局より、6月26日に銀座東武ホテルで行う第66回定時総会及び第129回建築士事務所協会全国会長会議等のスケジュール及び運営について、資料2によって説明がなされ、各会議で担当者が次第のとおり進行することを確認した。

協議の結果、資料2の原案を了承し、6月通常理事会に提案することを決めた。

#### (3) 第42回建築士事務所全国大会（東京開催）の実施要項について

事務局より、資料3により次の趣旨の説明がなされた。

10月5日10時から13時に、TKP新橋カンファレンスセンターで青年話創会を実施し、13時30分からは、帝国ホテルで大会式典、日事連建築賞作品展示、記念パーティの他、AI等に関する講演またはシンポジウムを開催する予定としている。大会テーマは「未来に繋ぐ」、講演の講師等については調整中、収支予算額は1,870万円である。

協議の結果、資料4の原案を了承し、6月通常理事会に提案することを決めた。

(4) 第44回建築士事務所全国大会（福井大会）の日程及び会場について

事務局より、資料4により次の趣旨の説明がなされた。

平成32年度の第44回建築士事務所全国大会は、福井会を主管会として開催することが決定していたが、今般福井会より、平成32年10月9日に、大会式典を「フェニックス・プラザ（福井市民福祉会館）」、パーティを「ザ・グラニューアーズフクイ」で実施したいとの計画が提出された。

協議の結果、福井会の計画を了承し、6月通常理事会に提案することを決めた。

(5) 会員増強単位会表彰について

事務局より、資料7によって次の趣旨の説明がなされた。

正副会長及び総務・財務委員長で構成する会員増強単位会表彰審査委員会で、平成29年度の各単位会の会員増加率及び増加数を勘案し、京都、鳥取、愛媛及び東京会を表彰対象とした。表彰は10月の全国大会で行う予定である。なお、登録事務所に対する加入率が30%弱と高い長崎会及び佐賀会は、表彰対象ではないが、表彰の際に紹介することとした

協議の結果、資料5の原案を了承し、6月通常理事会に提案することを決めた。

(6) 建築士事務所の業務環境改善WGで検討した日事連の委員会構成等組織について

建築士事務所の業務環境改善WGの佐々木主査より、資料6によって次の趣旨の説明がなされた。

WGでは「次世代に向けた働き方改革」を検討してきたが、改革を成し遂げるためには、青年WGと連携したり、課題に即した担当委員会等へ検討項目を振り分けることも必要との結論に至った。長時間労働の是正、雇用改善、設計環境・教育環境の整備及び業務報酬の引き上げ等、解決しなければならない課題に取り組み、次世代へのロードマップを平成31年度までに確立していく。また、次の議題にも挙がっているが、現在の組織体制に欠けている法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会を設置し備えを万全にしたい。

(7) 法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会の設置について

事務局より、資料7によって次の趣旨の説明がなされた。

短期的には、新設法規・制度の検討・研究及び建築士試験制度の具体的見直しを行い、中長期的には、現行法規・制度の検討・研究及び建築基本法の検討・研究を行い、建築業法の立法に繋げるため、法制度対応特別委員会の設置を提案する。将来的には、建築士事務所の単位会への強制加入を目標に、建築基本法の立法等による建築基準法及び建築士法の整備並びに建築業法立法の研究を進める。また、我が国は絶えず地震等による災害に晒されており、災害対策特別委員会を設置し、平時から大規模災害発生に備えたい。

協議の結果、両特別委員会の設置について、6月通常理事会に提案することを決めた。

(8) 適合証明技術者の新規・更新登録受付の実施について

事務局より、資料8によって次の趣旨の説明がなされた。

平成30年度は「適合証明技術者」の新規・更新登録の時期に当たるため、受付事務及び講習を実施する。なお、平成32年度より既存住宅状況調査技術者講習の登録期間と合わせるため、有効期限を、従来の2年後の9月末から、2年半後の3月末に変更する。前回は、既存住宅現況検査技術者講習と同日開催としたが、既存住宅状況調査技術者講習制度が発足したため、同日講習は実施しない。登録料、受講料及びテキスト代は、据え置きとする。

協議の結果、資料8の原案を了承し、6月通常理事会に提

案することを決めた。

- (9) 平成30年度建築士事務所キャンペーンの実施について  
事務局より、資料9によって次の趣旨の説明がなされた。

法定団体としての単位会・日事連の役割、会員である建築士事務所の業務等の重要性及び改正建築士法の内容を一般消費者に周知するとともに、会員増強に向けた活動を行うことを目的にキャンペーンを実施する。今年度もキャンペーン事業の実施経費として、上限10万円を単位会に助成する。単位会には、「国民への周知パンフレット」、「安心して家を建てるには」並びに文言を過去形に改訂した「建築主向け建築士法改正に係わるパンフレット」及び「建築士向け建築士法改正に係わるパンフレット」の4種類を提供する。

協議の結果、資料9の原案を了承し、6月通常理事会に提案することを決めた。

- (10) 6月5日議連総会開催及び建築士資格制度の改善にかかわる三会共同要望書の提出について

居谷専務理事より、資料10によって次の趣旨の説明がなされた。

建築士の高齢化の進展等により、建築士のリタイアや建築士事務所の廃業がより一層増加することが予想される一方で、将来を担う世代の建築士の確保が懸念される状況にある。将来を見据え、若手建築士の確保・育成が急務となっている。建築士試験の受験者が減少傾向にあるが、受験要件や資格獲得の見通しの不透明さ等がその要因と考えられるため、建築士を目指す若者に、より早期に、より見通しを持って建築士の資格を取得することができるよう、建築士資格制度の改善を図る必要がある。国交省に相談したところ、閣法では難しいため、議員立法を提案され、建築三会で資料のとおり共同要望をまとめ、6月5日の自民党建築設計議員連盟の総会に提案することとした。

- (11) 6月通常理事会の議題等について

事務局より、資料11によって説明がなされ、協議の結果、原案どおり6月通常理事会開催通知とすることを決めた。

## 8. 報告事項

- (1) 平成30・31年度役員候補者について

事務局より、資料12によって役員候補者の説明がなされた。

- (2) 平成29年度建築士定期講習のインセンティブ配賦結果について

事務局より、資料13によって次の趣旨の説明がなされた。  
建築技術教育普及センターより平成29年度建築士定期講習のインセンティブ配賦の判定結果の連絡があり、上位から順に、徳島、香川、石川、滋賀、熊本、大分及び千葉の7県であった。これら上位の単位会がどのような受講者増加対策に取り組んだのか同センターでアンケートを行ったところ、会誌・メルマガ等を活用した周知、来訪者等に受講案内チラシの配布、開催回数の増加、開催地の拡大、廉価な会場検索等であった。

- (3) プロポーザル方式における技術提案の視覚的表現の取扱いについて

居谷専務理事より、資料14によって次の趣旨の説明がなされた。

プロポーザル方式における技術提案の視覚的表現の取扱いについては、国交省官庁営繕部の運用により視覚的表現の許容範囲を具体例で示されてきたが、具体例の作成から20年以上が経過し、CAD等で作成することが一般化した。公共建築設計懇談会において建築三会からも意見提出を行い、今般、見直され、平成30年4月3日以降に発注手続を開始するプロポーザルから適用されることとなった。

- (4) 告示第15号改正実態調査（アンケート）結果の概要について

佐々木副会長及び居谷専務理事より、資料15-1, 2によって次の趣旨の説明がなされた。

2月から4月にかけて実態調査がWebにより行われ、調査対象1,426事務所のうち658事務所より回答があり、回収率は46%であった。5月から実態調査結果の集計・分析が開始され、5月23日の検討委員会では、実態調査の分析プロセス及び経費率について検討が行われた。8月下旬に

は中央建築士審査会で告示改正案の審議がなされ、10月にパブリックコメントの実施、年内には告示・技術的助言の公布・発出がなされる予定である。

- (5) 日本学術会議提言「公共調達における知的生産者の選定に関わる法整備」について

居谷専務理事より、資料16によって次の趣旨の説明がなされた。

日本建築学会元会長の仙田満氏より、知的生産者の公共調達に関する日本学術会議提言に基づいて、学協会連絡協議会を立ち上げるため、その準備会への参加要請がなされた。日事連として参加する方向で考えている。

- (6) 会員・構成員異動報告

平成30年3月末及び4月末の会員及び構成員数等が、事務局より次のとおり報告がなされた。単位会別構成員数等は資料17のとおり。

3月31日現在 正会員46団体、構成員14,747  
事務所、賛助会員6社

4月30日現在 正会員46団体、構成員14,732  
事務所、賛助会員6社

- (7) 後援名義等使用の催物について、事務局より資料18により報告がなされた。

- (8) 経過報告について、事務局より資料19によって報告がなされた。

#### <配付資料>

資料1：第66回定時総会議案書

資料2：第66回定時総会及び第129回建築士事務所協会全国会長会議等のスケジュール及び運営について（案）

資料3：第42回建築士事務所全国大会（東京開催）実施要項（案）

資料4：平成32年度第44回建築士事務所全国大会について

資料5：会員増強単位会表彰について

資料6：今後の業務環境改善WGの活動内容について  
資料7：法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会の設置について

資料8：適合証明技術者新規・更新登録の受付と講習の実施について

資料9：平成30年度建築士事務所キャンペーンの実施について

資料10：建築士資格制度の改善に関する共同提案他

資料11：平成30年6月通常理事会開催通知

資料12：平成30・31年度日事連役員候補者（案）

資料13：平成29年度建築士定期講習実施等業務委託費の加算精算（インセンティブ配賦）の判定結果他

資料14：技術提案における視覚的表現の取扱いについて

資料15-1：第6回建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準検討委員会議事次第

資料15-2：業務量分析フロー（案）

資料16：提言「公共調達における知的生産者の選定に関わる法整備」

資料17：会員・構成員異動報告等

資料18：後援・協賛名義使用の件

資料19：経過報告

## ■第129回 建築士事務所協会全国会長会議議事概要

1. 日 時 平成30年6月26日（火）

12：45～14：30

2. 場 所 銀座東武ホテル 3階 龍田

3. 会議の構成者数及び出席者数

構成者数 単位会会長46名

出席者数 単位会会長45名

4. 出席者の氏名

正会員

北海道会・庄司雅美 青森会・加藤 彰

岩手会・新沼義雄 宮城会・高橋清秋

秋田会・村田良太 山形会・藤原 薫  
 福島会・渡邊 武 茨城会・舟幡 健  
 栃木会・佐々木宏幸 群馬会・栗原信幸  
 埼玉会・栗田政明 千葉会・金子康男  
 東京会・児玉耕二 神奈川会・白井 勇  
 新潟会・坂本忠志 長野会・小河節郎  
 山梨会・藤田義治 富山会・堂田重明  
 福井会・木下賀之 静岡会・井上 泉  
 愛知会・松岡由紀夫 三重会・相原清安  
 滋賀会・井島 均 京都会・上野浩也  
 大阪会・戸田和孝 兵庫県会・柏本 保  
 奈良会・植村吉延 和歌山会・尾添信行  
 鳥取会・霜村將博 島根会・矢野敏明  
 岡山会・宮崎勝秀 広島会・衣笠准一  
 山口会・伊藤光洋 徳島会・松村史朗  
 香川会・中村賢治 愛媛会・濱本泰久  
 高知会・西森敬祐 福岡会・岩本茂美  
 佐賀会・平野直人 長崎会・三好定和  
 熊本会・南 孝雄 大分会・仲摩和雄  
 宮崎会・福澤幸雄 鹿児島会・古川 稔  
 沖縄会・野原 勉

日事連名誉会長 三栖 邦博

日事連役員

会 長 佐野吉彦

副 会 長 富岡 學、栗原憲昭、遠藤正幸

専務理事 居谷献弥

理 事 大谷秀逸、鈴木勇人、宮原浩輔、八島英孝、  
 山木 茂、横須賀満夫

監 事 宮原 克平、山下 卓治

事務局

前田敏明事務局長、鈴木雅之広報企画担当課長、千浜民子  
 業務課長、伊東眞理総務課長

#### 5. 欠席者の氏名

正会員 石川会 西川英治

#### 6. 挨拶

佐野吉彦会長より、以下の趣旨の挨拶があった。

- ・建築三会が一体となり、建築資格制度の要望や建築四会の要望による告示第15号の改正がいよいよ実現化されることになる。将来の業の確立につなげたい。
- ・建築士事務所の現状の課題を踏まえ、B I M、A I などの検討や災害に関する具体的支援等について今後検討していく予定である。

#### 7. 単体会新会長紹介

司会者より、前回平成29年12月6日の全国会長会議以降の単体会会長の異動について、以下の新会長紹介があった。

青森会 加藤彰会長、宮城会 高橋清秋会長、秋田会 村田良太会長、茨城会 舟幡健会長、  
 山梨会 藤田義治会長、福井会 木下賀之会長、静岡会 井上 泉会長、愛知会 松岡由紀夫会長、三重会 相原清安会長、大阪会 戸田和孝会長、兵庫県 柏本保会長、和歌山会 尾添信行会長、広島会 衣笠准一会長、徳島会 松村史朗会長、香川会 中村賢治会長、愛媛会 濱本泰久会長、長崎会 三好定和会長、熊本会 南孝雄会長、宮崎会 福澤孝雄会長、鹿児島会 古川稔会長

#### 8. 議長・副議長の選任

司会者より、議長及び副議長の選任について諮ったところ、議長に岩本茂美福岡会会長が、副議長に児玉耕二東京会会長が選任された。

#### 9. 議事録署名人の選任

議長より、議事録署名人の選任について諮ったところ、議長に一任され、岩本茂美議長、佐々木宏幸栃木会会長及び伊藤光洋山口会会長を議事録署名人に選任した。

#### 10. 報告事項

(1) 第42回建築士事務所全国大会（東京開催）の実施について  
 全国大会実行特別委員会佐野吉彦委員長より、資料1によって、次の趣旨の報告がなされた。

大会テーマを「未来に繋ぐ」とし、10月5日にて実施する。  
 帝国ホテルを会場とし、大会式典、日事連建築賞作品展示、記

念パーティの他、講演又はシンポジウムを開催する予定としており、講師は建築家・青木茂氏やコーディネータを建築ジャーナリスト・家入龍太氏他現在調整中である。また同日午前中には、近隣のTKP新橋カンファレンスセンターで、構成員事務所に所属する概ね50歳以下の所員を対象に、青年話創会を企画しているところである。大会参加費は、青年話創会は無料とし、式典及びパーティで16,000円、青年話創会参加者は12,000円に減額する。予算は、1,870万円である。

(2) 建築士事務所全国大会の開催地（地方の通年開催）について

栗原信幸総務・財務委員長より、資料2によって、次の趣旨の説明がなされた。

全国大会の開催地については、平成29年12月の全国会長会議で報告したとおり、東京開催は平成30年度を最後とし、平成31年度以降は地方の通年開催とすることが決定している。その後、平成32年の順番に当たる中四国ブロックに打診したが、会員数の少なさや財政に余裕がないことを理由に引き受けを固辞された。既にブロック内で一巡したところや2回開催している単位会もあり、できるだけ順番に従って6年に1度、各ブロックで引き受けるよう協力してほしい。

(3) 日事連の委員会構成等組織について

建築士事務所の業務環境改善ワーキンググループ佐々木宏幸主査より、資料3によって、同WGで検討した日事連の委員会構成等組織について次の趣旨の説明がなされた。

同WGでは、「次世代に向けた働き方改革」をテーマに、青年WGとの連携や常置委員会等への検討項目の振り分け等により、成果を成し遂げるためのロードマップ作成が重要であると考え、平成30～31年度活動骨子（案）を基に、引き続き「次世代問題」を中心に改善策・対応策を協議していく。

また、日事連の組織、体制を確認したところ、法制度及び災害について検討する場がないため、法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会を設置することを先般の理事会で決定した。

(4) 建築士資格制度の改善にかかわる三会共同要望書の提出について

佐野吉彦会長より、資料4-1～3によって、次の趣旨の報告がなされた。

設計等の業務を安定的、持続的に遂行するためには、建築士の確保・育成は急務であり、6月5日に開催された自由民主党建築設計議員連盟の総会において、設計三会から建築士資格制度の改善について共同提案を行った。議員立法による建築士法の改正のためには、多くの国会議員に理解してもらい賛同を得る必要があるため、単位会においても地元選出の国会議員に対し、要望するよう協力願いたい。

11. 協議事項

(1) 平成29年度事業報告について

居谷献弥専務理事及び各常置委員会委員長より、第66回定時総会議案書に基づき、平成29年度事業報告案の説明がなされた。

(2) 平成29年度公益目的支出計画の実施報告について

居谷専務理事より、第66回定時総会議案書に基づき、平成29年度公益目的支出計画の実施状況について説明がなされた。平成29年度末で公益目的財産額が0となった。決算日後3ヶ月以内に内閣府へ報告し、2～3ヶ月程度で完了が認可される見込みであるとの説明がなされた。

(3) 平成29年度決算案について

居谷専務理事より、第66回定時総会議案書に基づき、第1号議案に該当する一般会計及び適合証明業務登録機関特別会計の各項目内容について説明がなされた。

(4) 任期満了に伴う役員改選について

居谷専務理事より、総会の第2号議案に該当する、任期満了に伴う役員改選について次の説明がなされた。同一業界内外の役員選任数は、議案書に記載のとおりだが、具体的な役員候補者は総会時に提案する。

各協議事項説明後、次のとおり質疑等がなされた。

長野会会長及び和歌山会会長：平成29年度事業報告の教育・情報に関し、教育・情報委員長より報告された受講者数等と議案書に記載されている数が異なっていたが、違いを説明してほしい。

堂田教育・情報委員長：口頭での報告は、上半期の数であった。平成29年度の数は、議案書に記載されている数字が正しい旨回答がなされた。

＜配付資料＞

資料1：第42回建築士事務所全国大会（東京開催）実施要項

資料2：建築士事務所全国大会の開催地（地方の通年開催）について

資料3：日事連の委員会構成等組織について

資料4-1：一級建築士ストックの年齢構成（推計）

資料4-2：建築士資格制度の改善に関する共同提案

資料4-3：「建築士資格制度の改善に関する共同提案」の地元選出国会議員への要望について（依頼）

第66回定時総会議案書

## ■第66回定時総会議事概要

- 日時 平成30年6月26日（火）  
14時40分から15時07分まで
- 場所 東京都中央区銀座6-14-10  
銀座東武ホテル 3階「龍田」
- 総会構成者総数、定足数及び出席者数  
総総会構成者数 46人  
出席者数 46人（うち、書面表決書提出1単位会）  
○書面表決した者の氏名  
石川会 西川英治
- 出席者の氏名

(1) 正会員・指定代表者の氏名

北海道会・庄司雅美 青森会・加藤 彰  
岩手会・新沼義雄 宮城会・高橋清秋  
秋田会・村田良太 山形会・藤原 薫  
福島会・渡邊 武 茨城会・舟幡 健  
栃木会・佐々木宏幸 群馬会・栗原信幸  
埼玉会・栗田政明 千葉会・金子康男  
東京会・児玉耕二 神奈川会・白井 勇  
新潟会・坂本忠志 長野会・小河節郎

山梨会・藤田義治 富山会・堂田重明  
石川会・西川英治 福井会・木下賀之  
静岡会・井上 泉 愛知会・松岡由紀夫  
三重会・相原清安 滋賀会・井島 均  
京都会・上野浩也 大阪会・戸田和孝  
兵庫会・柏本 保 奈良会・植村吉延  
和歌山会・尾添信行 鳥取会・霜村將博  
島根会・矢野敏明 岡山会・宮崎勝秀  
広島会・衣笠准一 山口会・伊藤光洋  
徳島会・松村史朗 香川会・中村賢治  
愛媛会・濱本泰久 高知会・西森敬祐  
福岡会・岩本茂美 佐賀会・平野直人  
長崎会・三好定和 熊本会・南 孝雄  
大分会・仲摩和雄 宮崎会・福澤幸雄  
鹿児島会・古川 稔 沖縄会・野原 勉

(2) 役員

会 長 佐野吉彦  
副 会 長 富岡 學、佐々木宏幸、栗原憲昭、  
遠藤正幸、岩本茂美  
専務理事 居谷献弥  
常任理事 伊藤光洋、植村吉延、栗原信幸、堂田重明、  
新沼義雄  
理 事 秋野卓生、大谷秀逸、金子敏夫、神田重信、  
小林忠志、澤木英二、鈴木兼次、  
鈴木勇人、宮原浩輔、八島英孝、山木 茂、  
横須賀満夫、吉田敏  
監 事 宮原克平、山下卓治

5. 司会 事務局長 前田敏明

6. 会議の成立

司会者より、正会員46単位会全単位会（書面表決書提出者を含む）が出席し、定款第19条の定足数を満たしており、会議が成立している旨報告がなされた。

7. 議長及び副議長の選出

司会者より、議長及び副議長の選出について諮ったところ、拍

手多数により次の者が選出された。

議長 伊藤光洋山口会会長  
副議長 栗原信幸群馬会会長

#### 8. 議事録署名人の選任

議長より、議事録署名人の選任について諮ったところ、議長に一任され、議事録署名人に議長・伊藤光洋、新沼義雄岩手会会長及び堂田重明富山会会長が選任された。

#### 9. 議 事

##### (1) 報告事項1 平成29年度事業報告

居谷献弥専務理事より、第66回定時総会議案書(以下「議案書」という。)の3ページから34ページの内容について報告がなされた。

##### (2) 報告事項2 平成29年度公益目的支出計画実施報告

居谷献弥専務理事より、議案書の35ページの内容について報告がなされた。続いて、山下卓治監事より、議案書36ページに記載のとおり監査報告がなされた。

##### (3) 第1号議案 平成29年度決算承認の件

居谷献弥専務理事が、議案書の37ページから45ページの内容を説明し、提案がなされた。続いて、山下卓治監事より、議案書46ページに記載のとおり監査報告がなされた。

議長より第1号議案の承認について採決したところ、異議なく、議案書のとおり承認した。

##### (4) 第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件

①居谷献弥専務理事より、議案書47ページにより平成30・31年度の役員選任数の提案がなされ、議長より同提案の承認について採決したところ、異議なく、議案書のとおり承認した。

②議長より、居谷献弥専務理事に対し役員選任案の提案を求め、居谷献弥専務理事より役員選任案が提案された。議長より、役員選任案について諮ったところ、平成30・31年度の役員をつぎのとおり選任した。

1) 理 事 秋野卓生、伊藤光洋、井上勝徳、岩本茂美、  
植村吉延、小河節郎、大谷秀逸、金子敏夫、

神田重信、栗田政明、栗原信幸、児玉耕二、  
佐々木宏幸、佐野吉彦、澤木英二、  
庄司雅美、白井 勇、鈴木勇人、田辺正義、  
堂田重明、戸田和孝、富田 裕、新沼義雄、  
西川英治、濱本泰久、舟幡 健、南 孝雄、  
宮原浩輔、八島英孝、吉田 敏、渡邊 武、  
居谷献弥

2) 監 事 井島 均、木下賀之

### ■平成30年6月臨時理事会議事概要

1. 日 時 平成30年6月26日(火)

15時10分から15時17分まで

2. 場 所 銀座東武ホテル2階「芙蓉」

3. 理事会構成者数及び出席者数

理事会構成者数 32名

出席者数 30名

欠席者数 2名

4. 出席者及び欠席者の氏名

##### (1) 出席者

理 事 秋野卓生、伊藤光洋、井上勝徳、岩本茂美、  
植村吉延、小河節郎、大谷秀逸、金子敏夫、  
神田重信、栗田政明、栗原信幸、児玉耕二、  
佐々木宏幸、佐野吉彦、澤木英二、庄司雅美、  
白井 勇、鈴木勇人、田辺正義、堂田重明、  
戸田和孝、新沼義雄、濱本泰久、舟幡 健、  
南 孝雄、宮原浩輔、八島英孝、吉田 敏、  
渡邊 武、居谷献弥

監 事 井島 均、木下賀之

事務局 前田敏明事務局長(司会)、鈴木雅之広報企画担当課長、千浜民子業務課長、伊東眞理総務課長

##### (2) 欠席者

理 事 富田 裕、西川英治

5. 会議の成立

司会者より、理事会構成理事32名中30名が出席し、過半数

の出席となっているので、定款第41条の定足数を満たしており、会議が成立している旨報告がなされた。

#### 6. 仮議長の選任

司会者より、定款第40条で「理事会の議長は、会長又は副会長がこれに当たる」と規定されているが、会長及び副会長が選任されていないため、仮議長の選任について諮ったところ、司会者に一任され、仮議長に岩本茂美理事が選任された。

#### 7. 議事録署名人の選任

仮議長より、定款第45条第2項の議事録署名人の規定が読み上げられ、次の者を議事録署名人に選任した。

岩本茂美仮議長、井島均監事、木下賀之監事、互選された会長

#### 8. 議 事

##### (1) 会長の互選について

仮議長より、会長の互選について諮ったところ、堂田重明理事より会長候補者の提案があった。仮議長より同提案について諮ったところ、理事全員の一致をもって、佐々木宏幸理事を会長に選出した。

なお、被選出者は、席上その就任を承諾した。

##### (2) 議長就任

会長が選出されたことにより、定款第40条に基づき、議長を、仮議長の岩本茂美理事から佐々木宏幸会長に交替した。

##### (3) 副会長、専務理事及び常任理事の互選について

議長より、平成30・31年度の副会長、専務理事及び常任理事の互選人数について、副会長6名、専務理事1名及び常任理事6名とすることについて諮ったところ、一同これを承認した。

続いて議長より、互選の方法について意見を求めたところ、堂田重明理事より選任案を示すよう提案があった。議長より同提案について諮ったところ、一同これを承認した。

議長より、選任案を示し諮ったところ、次のとおり満場一致で選任した。

副 会 長 新沼義雄理事、児玉耕二理事、堂田重明理事、戸田和孝理事、伊藤光洋理事、

岩本茂美理事

専務理事 居谷献弥理事

常任理事 庄司雅美理事、白井勇理事、西川英治理事、植村吉延理事、濱本泰久理事、南孝雄理事

## ■主な行事予定

※行事日程は中止・変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

平成30年

7月23日 建築の低炭素化・省エネルギー化対応WG

26日 日事政研役員会

通常理事会

8月 3日 日事連建築賞選考委員会

7日 構造技術専門委員会

平成30年6月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 平成30年6月1日～6月30日  
 2. 会 員 在 籍 正会員 46団体 構成員 14,772事務所  
 賛助会員 6社

単位会	構成員		建築士事務所登録		賠償責任保険		
	増 減	在籍数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道	+ 2	1,019	4,406	23.1%	+ 2	265	26.0%
青 森	- 3	180	953	18.9%		40	22.2%
岩 手		265	943	28.1%		68	25.7%
宮 城		349	2,016	17.3%		74	21.2%
秋 田		147	971	15.1%		46	31.3%
山 形		181	1,163	15.6%		55	30.4%
福 島	- 1	239	1,619	14.8%		67	28.0%
茨 城		496	2,010	24.7%		159	32.1%
栃 木		176	1,386	12.7%		83	47.2%
群 馬		185	1,717	10.8%	+ 1	93	50.3%
埼 玉	- 1	498	4,884	10.2%		126	25.3%
千 葉	- 1	391	3,456	11.3%	+ 1	112	28.6%
東 京	+ 4	1,592	15,207	10.5%	+ 2	550	34.5%
神奈川	+ 4	779	6,135	12.7%	+ 1	200	25.7%
新 潟		312	2,308	13.5%	+ 1	135	43.3%
長 野		418	2,150	19.4%		115	27.5%
山 梨		109	844	12.9%		9	8.3%
富 山	- 3	309	1,234	25.0%	+ 1	59	19.1%
石 川		307	1,301	23.6%		56	18.2%
福 井		224	970	23.1%		53	23.7%
静 岡	+ 2	419	3,156	13.3%		126	30.1%
愛 知		556	5,118	10.9%	+ 1	137	24.6%
三 重		180	1,181	15.2%		62	34.4%
滋 賀		181	1,157	15.6%		34	18.8%
京 都	+ 1	351	2,201	15.9%	+ 1	96	27.4%
大 阪	+ 1	792	6,478	12.2%	+ 3	208	26.3%
兵 庫		412	3,573	11.5%		104	25.2%
奈 良	- 1	104	932	11.2%	+ 1	21	20.2%
和歌山		129	778	16.6%		25	19.4%
鳥 取		103	484	21.3%		45	43.7%
島 根		119	601	19.8%		61	51.3%
岡 山	+ 7	384	1,490	25.8%	+ 1	66	17.2%
広 島	+ 1	343	2,341	14.7%		132	38.5%
山 口		111	1,062	10.5%		37	33.3%
徳 島		105	851	12.3%		14	13.3%
香 川		95	1,094	8.7%		18	18.9%
愛 媛		167	1,188	14.1%		40	24.0%
高 知		140	622	22.5%		28	20.0%
福 岡	+ 3	469	3,662	12.8%		154	32.8%
佐 賀		182	581	31.3%		38	20.9%
長 崎	- 3	251	859	29.2%		42	16.7%
熊 本		229	1,401	16.3%		98	42.8%
大 分	+ 8	155	903	17.2%		38	24.5%
宮 崎		116	1,003	11.6%		50	43.1%
鹿 児 島		311	1,243	25.0%		81	26.0%
沖 縄		192	1,284	15.0%	+ 1	63	32.8%
計	+ 20	14,772	100,916	14.6%	+ 17	4,183	28.3%

※建築士事務所登録数は平成30年4月1日時点の数字である。